

園芸青年部「ベジビズ・ユース」西洋野菜を出荷 安定供給目指し二期作



▲ほ場巡回で生育を確認するメンバー



▲西洋野菜の黒キャベツ「カーボロネロ」

「市場への安定供給で新たな園芸作物を目指そう」と、酒田園芸センター青年部「ベジビズ・ユース」は、西洋野菜の黒キャベツ「カーボロネロ」の二期作栽培に今年から取り組んでいます。7月11日には、同青年部員とJA担当者、地元市場担当者が酒田市内3カ所では場巡回を行い、生育状況や今後の管理方法、病害虫対策についてお互いに確認し合いました。

「カーボロネロ」栽培はおととしから取り組み、今年は昨年より5a増の14aで栽培しています。6月に訪問した関東の2市場の取引先から、継続的な出

荷を要請されたことから、新たな取り組みとして、収穫後にただちにほ場を整備し、同品種を定植。二期作で市場への安定供給を図ることにしました。

同青年部の佐藤豪部長は「課題はあるが、手ごたえもある。引き続き部員の増員を図りながら、面積拡大に取り組みんでいく。いずれは主流の園芸品目と肩を並べるような知名度と収益性を目指したい」と意気込みを語っていました。

「カーボロネロ」は関東の市場2社と地元市場1社に既に60kg出荷しており、9月まで出荷が続きます。

現役警官から安全安心学ぶ ゴールドレディ研修会開催



▲本物の警察手帳を確認する部員たち

当JA女性部は7月12日、遊佐町の鳥海温泉「湯楽里」でゴールドレディ研修会を行いました。ゴールドレディは65歳以上の女性部員が対象で、当日は120人が参加しました。

午前の部では山形県警酒田警察署の大坂生活安全課長と渡邊交通課長を講師に迎え「安全安心な生活を送るために」と題して講義が行われました。県内で実際に起きた特殊詐欺事件を取り上げ、詐欺の特徴や対処法を紹介。本物の警察手帳と詐欺事件に使われた偽物の警察手帳を見比べて違いを確認する場面もありました。



▲華やかな衣装で本格的な踊りを披露しました

また、交通事故は夕方に多く発生しており、外出時は明るい色の服装を選ぶことや反射材の活用を呼び掛けました。部員たちは「身近なところに危険が潜んでいることに驚いた。今日の講義を家族にも伝えたい」と話していました。

午後からは各支部の部員が歌や踊りの発表をする「お楽しみマシヨ」。着物や手作りの衣装に着替えた部員たちが、ステージで華やかな姿を見せました。練習を重ねてきた本格的な歌や踊りに、観客席は大歓声。会場は笑顔と拍手に包まれ熱気であふれていました。